

令和2年度 消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金，食料安全保障確立対策整備交付金）都道府県等成果及び評価報告書

都道府県等名：鹿児島県

目的	目標	事業実施主体ごとの目標値，実績，達成度，評価						県による評価の概要
		事業実施主体	項目	目標値	実績	達成度	評価	
I 農畜水産物の安全性の向上	農薬の適正使用等の総合的な推進	鹿児島県	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合	8.0%	9.5%	98%	A	<p>県内各地で農薬取締法，農薬の取扱について研修を行うとともに，農薬指導士養成研修を開催し，農薬の取扱について指導的役割を担う農薬指導士を認定した。</p> <p>農薬販売者及び使用者に対する立入検査において，改善の指示・確認を行うことで適正な農薬販売・使用の徹底が図られた。</p>
II 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生の 推進	鹿児島県	家畜衛生に係る取組の充実度	100.5%	158.3%	157%	A	<p>病性鑑定検査数及び監視伝染病発生件数より，伝染性疾病に対しての監視体制強化や各種疾病の発生予防・まん延防止が図られていると評価する。</p> <p>また，HACCPや動物用医薬品適正使用の普及・啓発が図られており，畜産物の安全な共有に寄与していると評価する。</p>
		(公社)鹿児島県家畜畜産物衛生指導協会	家畜衛生に係る取組の充実度	100.5%	158.3%	157%	A	<p>事業により，県及び地域での自衛防疫が推進され，家畜防疫の円滑な実施につながり，地域での家畜疾病の低減に寄与していると評価する。</p>
		南九州市家畜自衛防疫協議会	家畜衛生に係る取組の充実度	100.5%	158.3%	157%	A	<p>協議会が中心となって，動力噴霧器等を整備することで，農場におけるPED侵入防止対策など，地域ぐるみでの防疫体制の強化を図ることができたと評価する。</p>
		曾於市大隅町家畜衛生協議会	家畜衛生に係る取組の充実度	100.5%	158.3%	157%	A	<p>協議会が中心となって，動力噴霧器等を整備することで，農場におけるPED侵入防止対策など，地域ぐるみでの防疫体制の強化を図ることができたと評価する。</p>
		曾於市財部町家畜衛生協議会	家畜衛生に係る取組の充実度	100.5%	158.3%	157%	A	<p>協議会が中心となって，動力噴霧器等を整備することで，農場におけるPED侵入防止対策など，地域ぐるみでの防疫体制の強化を図ることができたと評価する。</p>

目的	目標	事業実施主体ごとの目標値、実績、達成度、評価						県による評価の概要
		事業実施主体	項目	目標値	実績	達成度	評価	
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	養殖衛生管 理体制の整備	鹿児島県	養殖衛生管理指 導を行う養殖等 経営体数の割合	55%	70%	127%	A	事業実施が、主要養殖魚の魚病被害軽減や食品としての安全な養殖魚 生産に大きく寄与しており、達成度も良好であった。
	病害虫の防 除の推進	鹿児島県	薬剤抵抗性を始 めとする難防除 病害虫・雑草の 防除体系等にお ける作業の現状 値からの向上率	105%	105%	100%	A	事業実施により、サヤインゲンの促成栽培について、天敵利用体系の 確立に必要なデータが得られ、天敵・フェロモン等を利用した防除技術 の確立に寄与した。 また、薬剤抵抗性病害虫の発生が懸念される水稻のトビイロウンカに ついて、防除に有効な薬剤選定のための必要なデータが得られた。
	重要病害虫 の特別防除 等	鹿児島県	調査回数	14,962 回	15,069 回	100%	A	ミカンコミバエの侵入警戒調査において、6月以降、県本土を含む県 内21市町村において151匹の誘殺が確認されたが、国（植物防疫所）及 び関係機関・団体等と連携して、国の対応マニュアルに基づく初動対応 を行った結果、発生は確認されていない。 その他の特殊病害虫については、未発生地域において侵入警戒調査を を実施した結果、発生を認めなかった。 特殊病害虫の侵入警戒調査については、市町村と連携しながら実施し ており、今後も、継続して侵入警戒体制の強化に取り組むこととしてい る。
総計・総合評価（一般交付型）						115%	A	

目的	目標	事業実施主体ごとの目標値、実績、達成度、評価						県による評価の概要
		事業実施主体	項目	目標値	実績	達成度	評価	
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止 (特別 交付型)	家畜衛生の 推進	出水市	高病原性鳥インフル エンザのまん延防止	高病原 性鳥イン フルエンザの まん延 防止	高病原 性鳥イン フルエンザの 発生件 数0件	達成	適正	全国での高病原性鳥インフルエンザの発生が続く中、養鶏業が盛んな出水市において、当該疾病の発生が防がれており、本事業が発生予防に寄与していたと評価する。
	家畜衛生の 推進	鹿屋市	高病原性鳥インフル エンザのまん延防止	高病原 性鳥イン フルエンザの まん延 防止	高病原 性鳥イン フルエンザの 発生件 数0件	達成	適正	全国での高病原性鳥インフルエンザの発生が続く中、養鶏業が盛んな鹿屋市において、当該疾病の発生が防がれており、本事業が発生予防に寄与していたと評価する。
	重要 病害 虫の	鹿児島県	カンキツク リーニ ング病のまん 延防止	発生調 査62回 ミカンジ ラミ防 除68回 感染樹 伐採処 分62回	発生調 査62回 ミカンジ ラミ防 除68回 感染樹 伐採処 分16回	達成	適正	発生調査において、2,333地点、5,798本のカンキツ樹を調査し、15地点、16本の感染樹を確認した。 今回、確認した16本の感染樹はすべて伐採し、併せて媒介昆虫であるミカンジラミの防除を行い、まん延防止に取り組んだところである。 防除を重点的に取り組んでいる徳之島においては、感染樹の発生数は、H27：9本、H28：3本、H29：2本、H30：1本、R元：0本、R2：0本と推移しており、根絶に向けて、事業は順調に進んでいる。
	特別 防 除 等	鹿児島県	アリモド キゾウ ムシの発生 抑制とまん 延防止	5,690ha	5,690ha	達成	適正	誘殺剤散布の効果については、野生虫の生息密度低下が認められており、今後も効果の検証を行いながら取組を継続する必要がある。 不妊虫放飼の効果については、区域1において「ほぼ根絶状態」にあると考えられる地域が1,000haに拡大しており、今後も不妊虫の増産・放飼と併せて寄主植物の除去等を実施し、区域1全体の根絶に向け取組を継続する必要がある。
総計・総合達成度（特別交付型）						達成	適正	

目的	目標	事業実施主体ごとの目標値、実績、達成度、評価						県による評価の概要
		事業実施主体	項目	目標値	実績	達成度	評価	
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止 (R元補正 特別 交付型)	重要病害虫 の特別防除 等	鹿児島県	ツマジロクサヨトウのま ん延防止	ツマジロク サヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	達成	適正	事業の実施により、ツマジロクサヨトウのまん延防止に向けた効果的 な調査が実施できた。
		鹿児島県酪 農業協同組合	ツマジロクサヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	達成	適正	事業の実施により、ツマジロクサヨトウのまん延防止が図られた。
		あまみ農業協 同組合徳之島 事業本部	ツマジロクサヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	達成	適正	事業の実施により、ツマジロクサヨトウのまん延防止が図られた。
		あまみ農業協 同組合天城事 業本部	ツマジロクサヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	達成	適正	事業の実施により、ツマジロクサヨトウのまん延防止が図られた。
		あまみ農業協 同組合知名事 業本部	ツマジロクサヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	達成	適正	事業の実施により、ツマジロクサヨトウのまん延防止が図られた。
		あまみ農業協 同組合和泊事 業本部	ツマジロクサヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	ツマジロクサ ヨトウのま ん延防止	達成	適正	事業の実施により、ツマジロクサヨトウのまん延防止が図られた。
		総計・総合達成度 (R元補正特別交付型)					達成	適正

目的	目標	事業実施主体ごとの目標値、実績、達成度、評価						県による評価の概要
		事業実施主体	項目	目標値	実績	達成度	評価	
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病虫害 の発生 予防・ まん延 防止 (H30整備 交付金)	家畜衛生の 推進	鹿児島県	施設の活用によ るバイオセキュ リティの向上率	175%	162.5%	92%	A	<p>事業の実施により、始良ストックポイント及び曾於ストックポイントに特殊塗装を施した腐食等に強い死亡牛一時保管施設冷凍コンテナを整備することで、高圧洗浄機の利用が可能となり、水洗・消毒の作業時間の短縮が図られた。</p> <p>このことから、まん延防止対策の向上と防疫作業の効率化が図られていると評価する。</p>
総計・総合達成度（整備交付金）						92%	A	